

---

## オンライン(ミート)での全校朝会

---

これまでは、ビデオカメラによる放送朝礼でした。今回、オンライン(ミート)での全校朝会にチャレンジしてみました。

オンライン(ミート)を使うことのメリットの一つ目は、どの教室からでも朝会に参加できるということです。司会者、提案者などが一同に放送室に集まらなくてもいいということです。司会者が学級担任の先生ならその教室から司会をすることができます。児童(委員会活動)からの連絡があるときは、その児童がいるクラスからさまざまな情報を発信することができるということです。また今後、学級から全校に発信したいことがある場合など可能性は広がります。



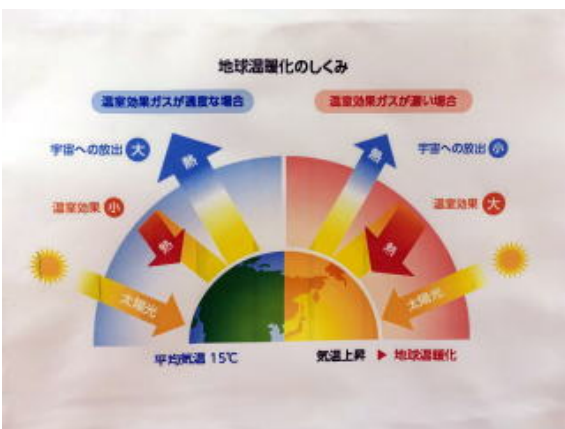
画像は加工して掲載しています

二つ目は、資料提供が容易になるということです。これまで、提案者が文字や写真をビデオの前に持ち、カメラに寄ってもらって写していたものが、準備した資料をクリアに画面に共有することができるということです。この場合、写真はもとより動画も共有することが可能になってきます。

---



校長室前の掲示版



今回の朝会のテーマは「もったいない Mottainai」でした。2004年ノーベル平和賞を受賞されたケニアのワングリ マータイさん。「自然や環境を守ることこそが、平和な未来をつくることができる」と提唱されていました。昨年度からレジ袋の有料化に伴い、エコバックを使うことがやっと日常となってきましたが、そのことをきっかけとして私たちの生活の「もったいない」を見直してみましようというお話をさせてもらいました。最近テレビでもSDGsの話題がよく取り上げられるようになりましたが、子どもたちの未来を想像したとき、今から本当に地球規模で考えなければならない課題でもあります。「もったいない Mottainai」という言葉は、日本発の世界に通用するすばらしい文化であり美しい言葉です。それぞれの家庭おいての「もったいない」とはどんなことでしょうか。

早速、あるクラスでは、給食の食べ残しについて考え行動にうつしている姿がありました。食べ残しがすごく少なかったり、残すときに「ごめんなあつ」と言っていたり・・・。「食品ロスにつなげて考える」、「食糧自給率につなげて考える」。意識をすればみ

えなかったものが見えてくる・学びは  
すべてつながっている・・・子どもた  
ちの姿からそんなことを感じさせても  
らいました。

---